

はじめに

学校長 角本 順次

われわれは、このたび「発達と障害に応じた教育をめざして——個に視点をあてた指導の実践——」を主題として掲げ新しい研究実践に入ることとした。過去3年間にわたる「豊かな心を持ち、たくましく行動する子」の研究はひと先ず区切りをつけたわけであるが、実は今回の研究は、前回の内容を受けつぐものである。それは、紀要第6集の「はじめに」で、「各教員が特定の対象児を選び、必要な指導を加える」方法をとった、と記したのを思い起こせば、直ちに理解できることである。いいかえれば、この新しい主題は、前回の研究から来る自然な帰結ということになるろう。

「障害児教育は教育の原点である」とは、しばしば耳にする主張であるが、その意味するところはひとにより異なることがあるにせよ、ひとつには、子どもの個性・特性を無視した画一的教育を余儀なくされている一般的状況に対して、われわれこそが、本来あるべき姿の、ひとりひとりに合わせた教育を実践しているとの思いがあることを感ずるのである。

実は今回改めて他校の紀要をひろく参照してみると、このことを反映する研究主題が増加していることに気づいた。本校もこれらの驥尾に付して、多くを学びたいと思う。

ご覧のように、この紀要は手書きのものであるが、われわれの取り組みもそうしたものである。願わくば諸賢のご批判ご指導を得て足らざるところを補い、次にはその成果に見合う読み易い紀要を出し、研究発表会を開いておいでを待ちたいと考えている。